



カラスとの上手な付き合い方

「カラスに威嚇された」、「カラスが生ごみを食べ散らかして困る」。毎年5月から6月ころまで、住民の方からのこんな苦情が区役所に多く寄せられます。「カラスを駆除してほしい」という声が寄せられることもありますが、カラスは法律で保護されている野生鳥獣であり、むやみに捕獲したり、卵を採取したりすることが禁じられています。カラスも人間と同じ自然界で共に暮らす生き物。カラスと共存するため、私たちにできることを考えてみませんか。

(協力：日本野鳥の会札幌支部)

カラスってどんな鳥？

都会で見られるカラスは、ハシブトガラスとハシボソガラスの2種。1年を通して街で見掛けることができます。春先からおおむね6月ころまでは、繁殖期に当たり、高い木に枯れ枝を積み重ねて巣作りをし、ヒナが巣立つまで子育てをします。最近では、街路樹や庭木など人間の住む場所の近くで巣作りをするカラスが増えたため、人間と接近することにより摩擦を生じています。

カラスは雑食性で、生ごみや小動物、木の実などを食物としています。

また、一般的には大変賢い鳥であるといわれており、理由もなく人間を威嚇したり、攻撃をしたりしないと考えられています。



ハシブトガラス



ハシブトガラスの巣とヒナ

どんなときカラスは人間を威嚇・攻撃する？

カラスによる威嚇・攻撃の被害は、カラスが子育てをする5・6月ころに多く見られます。人間が、巣やヒナに接近すると、親ガラスは子どもを守るため、威嚇や攻撃などの行動を起こします。たとえ人間が危害を加えようとしていなくても、近づいただけで外敵と見なして襲ってきます。カラスの巣やヒナを見掛けたらなるべく近づかないことが、被害を受けない最善策です。

(写真提供：日本野鳥の会 やまだ りょうぞう 山田 良造さん)

カラスに威嚇・攻撃されたらどうすればいい？

カラスが巣を作るのは、街路樹や電信柱、庭木などの高い場所なので、普通に歩いているだけでは気付かないことが多いでしょう。では、突然カラスに出会ったとき、どうやって身を守ればいいのか。

攻撃までには次のようなサインが見られます。慌てずにその場から離れましょう！

- ★「偵察」～攻撃対象をじっと見詰めてくる。
- ★「警告」～大きな声で鳴き始め、上空を旋回しながら威嚇してくる。また、くちばしをとまり木にこすりつけたり、小枝を折って地面に落としたりする。

逃げるときの心構え

- ★決して慌てて逃げない。
- ★カラスをじっとにらみながら、静かに距離をおくように離れる。



攻撃された場合の身の守り方

- ★カラスは前方からは攻撃してこない。身を低くして、頭部と目を守るように顔を伏せ、頭を手で覆う。
- ★手提げかばんやバッグを持っていれば、それで頭を守る。
- ★傘を差すのも効果的。

都会のカラス問題はごみの問題！

人間が出す生ごみは、カラスにとっては食料供給源であり、都会でカラスが増加する一因となっています。特にごみステーションは格好の餌場。カラスが食い散らかすことにより、街の美観を損ねることのないよう、ごみの出し方を工夫しましょう。

生ごみを減らすようにする

ごみの収集時間を守る

ごみステーションをネットなどで覆う